

2A-93

169
269

THE SHAKAI NO TAKARA.

排為
哲學
社會の寶貝
完

活眼山人增井久治郎著述

近江
水口
益智
新友社
出版

排倫 社會の寶緒言

眼ある者は見よ天の日月星辰の空間に整然と
して排列せざるを耳ある者は聞け黄鳥の花間に
囀り雲雀の空中に歌ふを是皆眞理の作用にし
て人為の及ぶ所にあらず嗚呼眞理ハ奥妙高遠
究むれば彌々幽妙なるを知る嗚呼眞理は卑近
切實吾人日常之を味ふを得たり頃日感あり此
編を著はず讀者此書によりて眞理の如何を探
究せば吾人又何を望まん

明治二十七年庚午八月

活眼山人誌

目 録

第一 真理の事

第二 教育の事

第三 諸宗教の事

第四 諸動物の事

第五 植物礦物の事

第六 無神論と有神説の事

第七 宇宙の廣大なる事

第八 人の職業の事

第九 人間福禍の事

第十 結末総論

目録畢

第一 真理の事

真理とは如何なるものか真理は何れに存在するか真理ハ古今によりて相異なるものか
 真理ハ人間の脳力によりて充分發見するを得るか將神佛の力にあらすんは真理を充分
 に探究する能はるか吾人は此問題に就て一々解釋を下さんとするものなり

宇宙ハ空々漠々天を見ても地を見ても容易く其眞性を知る能はさるなり然れども此間
 に一大原則即真理なるものありて常に天上天下の諸動物を始め礦物より植物に至る迄
 凡そ之を支配せし故に人は真理を離れて一日も生活し得るものにあらす獨り人類のみ
 ならず宇宙の森羅萬物象者然らざるなり人に生死あり木に榮枯あるは免る能はさるも
 のにして往古より死を厭ふて不死の薬を需め庭園に菊花を植えて四時落花せざるを望
 むものありしも更に其効なくして聖賢君子も死し名木珍花も枯朽するに至る故に知ら
 ず識らずの間は於て真理に従ふより外なきものなり

此故に帝王の威もニウとんの學も陶猗の富も真理を奪ふ能はず真理に勝つと能はず如

何なる智者も如何なる愚者も共に真理の奴隷たるなり而して此真理や宇宙に瀰漫して萬物の内外に充滿す天地開闢の以前より存在して天地滅亡の後に至る迄消失することなし時の古今と洋の東西を問はず少しも差異あるなし要するに人間の腦力にては如何に智力が發達するも到底完全なる真理充分なる真理を發見する能はず支那の孔子、老子、天竺の釋迦、波斯の耶穌、希臘のソクラテス其他世界有名なる賢人哲士か發明せる所も僅かに其一部分に過ぎず況んや近代の博士、學士、名僧智識の如きは其一部分たも發見する能はず神佛の方も尙及はざるはなく斯く論じ來れば真理は究竟發見する能はずして唯其幾分を發見するに止るのみ故に古來漢儒か無上の寶典とせし四書五經にも繼往か世界無比の妙理を包蔵するとして尊崇極りなき諸經文の中にも欠点多くして今日は駁撃の聲四方に起るにあらずや

第二 教育の事

人世に最も必要なるは教育なり教育なき人は宛も蟬の脱殻の如し中心空虚無學不文にして殆ど人か石木かを疑ふ故に苟も人間に生れたる上は幼少の時より教育を受けざる可らず孔子も釋迦も皆教へを受けて然る後人材英傑となりしなり然るに教育とは廣き意味にして原語に之をエマケシヨと云ふ良智良能を導き出すの義なり此故に宗教と教育とは相隣りして殆ど兄弟の如き關係を有するものなり何となれば宗教も亦良智良能を導き出し人をして善に勸み惡に懲るの觀念を興へ必竟人類の幸福を増進するものなればなり世には無智の輩ありて教育と宗教との衝突とか教育家は宗教に關係しては能くない杯と云ふものあるは抑も誤れるの甚しきものなり斯の如き偏頗狭小なる思想より成り立たる教育の結果は其害多くして其利少きものど調ふへし而して教育も真理に従ふものなれば真理を離れて獨立すべきものにあらず是世の教育家の尤も注意を要する点なり概言すれば世界に最良なる教育家なく完全なる教育法を發明せしものなきなりペスタロツツや翁やハルベルトの如き教育主義を珍重する今日なれば其發達の鈍さも無理なきなり教育の進歩せざるも道理なり第五議會豫算會に於て長谷川代議士

は曰く文部省は有害無益なりと此言たるや鹿暴荒唐なるか如しと雖ども奥齒に於て噛み占むる時は其味なきにあらざるなり文部省か種々の訓令を下して人の自由を束縛せることは従前其例に多し否全國の教育家を鈎束して教育の發達を妨害せしなり而して教育の主義を屢々變更して殆ど依る所を知らざらしめしこともあり兎に角民間にも政府にも完全なる人物かなきの致す所と知りて誤りなきなり

第三 諸宗教の事

宗教の種類多きは教育主義の分派せるか如く枚擧に遑わらず世界博覽會宗教會議に於て各宗より提出せる奥義妙理は其深淺と理否とは茲に敢て贅せず唯世界に於て尤も有名に最も勢力ある宗教に就て聊か論評を試んとするなり

佛教は天竺の悉達太子の歎むる所耶蘇教は波斯の耶蘇基督か祖述する所なり儒教は支那の孔子の工夫になり道教は老子四教ハマホメットなり是等諸宗教の經文聖肩汗牛充棟其數多くして容易に教理を見出すに若しむなり然れ共概括すれハ左の數語に過ぎざるなり

るなり

人々を善良に導き人々に幸福を與へ其記したる罪を消滅せしめ將來罪惡を送らざらしむ約言すれば人に幸福を得せしむ是に於て何れの宗教に於ても人間の幸福を促かざることをなし乃ち極樂説も起り天國地獄も出來高天原も根の國も生ずるなり名義こそ異なるれ其目的に於ては諸宗皆大同小異其差を見分け難きなり近年我國に起りたる天理教の如きを必しも世間に言ひ晰すか如く惡しきのみにあらざるなり中には随分取り用ひて善き所あるなり吾人今仮りに圖を設けて諸宗教を分析すれば左の數種に過ぎざるなり

第一
完
善
不
完
善

善良なる所多くして不良少きもの即ち國家有益の宗教なり

第二
完
善
不
完
善

善良と不良と相半す即ち利害相等しきもの

第三	完	善	不	完	善
----	---	---	---	---	---

善良少くして不良多きもの即ち害多くして利少し

六

第四	完	善	不	完	善
----	---	---	---	---	---

善良極微にして不良最大なるもの即ち利益極少にして大害あるもの

右圖に示すか如く何れの宗教にても弊害のなきものなし唯利益の多きものと弊害の多きものとの別あるのみ故に無形の靈を魂全然宗教に一任するは覺束なき事と謂ふへし吾人は其害なる迄を去りて利益をのみなるの大眼力を有せんとを希望するなり

第四 諸動物の事

動物の種類甚多しと雖も之を大別すれば有脊動物無脊動物の二類とす而して人類も亦有脊動物無脊動物にして動物中最高の地位を占む故に人類は他の動物を使役して生計を營む爰に一説あり神か人類の爲めに他の動物を作り玉ひしなりと又一説あり動物は種々に進化するものにして人類は高等なる猿猴屬より進化したるものなりと又人類ハ

最初より人類にして決して進化し來りたるものにあらず故に後來幾万年を經過するも變化するものにあらずと又從來我國に行はれ婦女子か好んで讀みたる三世相なる書物あり是等の説による時は人類の以前は多くは牛、馬、猿、蟻等の諸動物なりしを証せり其荒誕素より取るに足らずと雖も若し進化變種する者とすれば此説も亦眞を措くへきなり又神か人の爲め他の動物を作り玉ひしに違ひなき者とすれば其神は不完全なる神にして蚤や虱は常に人血を吸ひ人々職管めて生活するものなれば人ハ虻蚊蚤虱の爲めに造られたるものなるか神の不完全なるハ獨り是のみならず一々數ふるに違わらざるなり若し又進化説の如く猿猴屬より變化し來りたるとはせ人類より如何なるものに進化するや何ぞ猿類の進化ハ早くして人類の進化は遅きや是亦取るに足らざるなり故に吾人は思ふ天地にハ大原則即ち眞理なるものありて諸動物皆此理によりて進化するは進化し變遷するものは變遷するなり然れども人類の今日迄の經歷に徴し之を考究する時は決して進化するものにあらず最初より人類たりしに相違なきなり往古の歴史

七

を顧みれば穴居の時代も人獸同居其生計殆ど弁別し難きものありと雖とも宛も金剛石か砂中に混雜しありしか如く金屬か銅礦の中にありしか如く銀類か鉛礦と交とあるか如きものなりしなり同居混雜の時代ありしとて決して同類の者にあらざるなり然るに貴重高等の人類にして以前は猿とか牛とか犬とかの説を立て自己の品位を落し愚者を瞞着するか如きは其精神の腐敗は素より未だ生理學も動物學も知らざるものと謂ふ可し

第五 植物礦物の事

地上多くの礦物は皆七十元素の配劑によりて松の木となり杉の木となる金剛石となり金銀となる其元素なるもの如何なる物質より成ると云へば復た分つへからざるものにして其元質は探究し能はず是れ今日迄物理學者の研究したるものにして元素の性状存在効用等ハ調査して造化の奧義を極むるとするも其元素なるものは如何なる物質より成立せしかを知らず物理の發達は未だ以て極点に達する能はず汽車の發明電氣の發

明は較人目を驚かす如きなるも宇宙の廣大なる社會の複雑せる決して今日の時代を以て理學の進歩を賞賛するに足らず植物礦物も亦人の爲めに地上に存在するものなるか果して然るとせば櫻木は怨まん薔薇は怒らん牡丹は笑はん礦物若し有情のものとは金銀寶玉も亦植物の如く怒るものもあらん笑うものもあらん吾人は思ふ人の爲に地上に存在するもの一物もなしくて眞理の爲めに存在し眞理を表せんか爲めは花も咲き實を結び石英も結晶するなり語を換へて之を言へば地上の植物礦物動物より天上の星辰に至る迄皆眞理の作用によりて存在するものなり人の爲めに植礦を作り蚊虻の爲めに牛馬を作るの謂ならんや眞理程恐るべきものはなし故に世界十五億万の人々は眞理に従へば立身出世し長命し安樂なるも徹塵毛頭之れに背げハ忽ち禍害を蒙り不幸となり短命となる安樂なることを得ざるなり然るに世の人神佛の崇信するを知り眞理の貴重なるを知らず實に嘆すべき事共なり有體靈智の人類にして眞理に従ふこと植物礦物の如くならしめば世界に貧者なく愚者なく悪人なく嫉妬なく淫奔なく不忠なく不孝なく

戦争なく喧嘩なく短命なく病疾なかるへきに常に我慢心を起して眞理に相遠さかる故に終に自ら禍害を招き其身終生困苦に終るものあり慎むべき事共なり

第六 無神論と有神説の事

無神論者にも有神論者にも共に英傑俊才あるは人の知る所此宇宙には天神ありて天地を造り萬物を主宰するも云ふ又天地萬物は自然に出來得るものにして神の造る所にあらず唯全智全能の佛ありて世界を濟度するも云ふ神と云ひ佛と云ひ其名は異なれども其性質ハ格別異ならずして神佛には到底人智の及ばざる所宇宙の一大潛力を有し神通力を有し人の福禍を支配す故に善行には善報あり惡行には惡報を興ふる影の形響の音に應ずるか如く應報神速少しも違へずと云ふ又特々現世のみならず永遠永劫にも及ばず爰に於てか三世因果の説も起り未來天國の樂境幽界の苦惱説も起るなり又世界には神佛あるとなし凡て自然の結果天然の法則によりて幸福も因禍も生ずるものにして凡て宇宙は科學即ちサイエンスの理法に基くものにして所謂神佛の主宰するものなし

故に固より宇宙の全權を特有するものなきなりと以上は有神無神の両説を陳述したるものなり吾人は神佛の有無を争ふを欲せず然れども若し神佛のあるものとすれば是も亦眞理の範圍内のものにして決して眞理以外に神佛あるとなしされば無神説も有神論も歸着する所は同一にして二者相睥睨すべきものにあらす故に眞理を賞讃し敬愛し信仰し服従すへし病疾を治せんとせば眞理によれ金を得るも立身するも技藝に長するも學者となるも名僧となるも皆眞理に依れ天下萬般の事眞理に依らずして成立するものなきを知るへきなり嗚呼眞理は神を使ひ佛を指揮するものなり神佛ハ眞理の奴隸たるなり無神論も眞理の一部に過ぎざるなり爰を以て古の聖賢は終生眞理を探究するも終に盡す能はずして歿せり十九世紀の歐米の賢哲日本の英才も皆眞理を求むと雖ども未だ世界三大傑即ち孔子、釋迦、耶穌の如き人物の現出を見ざるなり然れども將來は是等人物に勝るの英傑出でざるにあらす必ずや我日本帝國而も近江國より出づるなるべし

第七 宇宙の廣大なる事

吾人々類が極息せる此地球の廣幅は地理家測量家の測算する所にして大畧之を知るを得るも天上天下の恒星惑星諸星辰に至りて其數千万無量古來未だ曾て推測せしものなし僅かに太陽系統に屬する消星を探究するに過ぎず然れ共顯微鏡望遠鏡學の大に發達する時は太陽系統の星辰をも調査するを得べく遠く千万里の上天に眼力を及ぼす可きも此廣大無邊の宇宙は到底探知する能はず然れども其星辰の數は數理學の企及し能はざるものとするは誠かなり如何に宇宙は廣大なるも其間に眞理の存するありて其廣幅と其數量とは整然として一定せるものなり故に古人も大極は無極にして大極と云へり頗る味ある言なり又佛典に無量不可思議の說あり是ハこれ眞理の作用を賞讃せる語にして奧妙高遠の意義するものなり此故に世に眞理程尊きものはなく吾人を始め動植其地萬物も皆地上に極息し得るは全く眞理の効用なり試みに見よ天上空間に散在せる星辰が衝突破裂せざるを又此地球が水球にならず氷陸相交りて一大塊

をなし陸上にハ汽車を轉すべく水上には漁船を浮ふへし又此地球が碎粉とならず地球の上に更に水又ハ陸の外皮の附着することなく地球の外皮が剝脱することなく又地球が軌道を轉して天上の大陽諸星に合体することなく地下の奈落に沈むことなく春夏秋冬四時序を失はず寒暑時を定めて往來するか如きは實に眞理の作用にして其恩の廣大なるは大慈大悲の觀世音菩薩の類にあらざるなり不完全なる神の全智全能の如きものぞ同日の論にあらざるなり天文學者の說によれば宇宙には大陽の如きもの又大陽より更に大にして同性質同効用のもの其數甚々多きを知ると吾人は眞理の美德に洪恩を感謝して止まざるものなり

第八 人の職業の事

人の職業には貴賤あるものなるか若しこれあるものぞせば官吏、教師、傳教師、醫師、僧侶等の職務が貴くして農業、商業、工事、車夫、役夫、等の職務が賤しきか吾人は之れに左袒する能はざるなり故に吾人は人の職業には貴賤の別を立てずと雖ども強て

區別をなせば左の如き分類法を立つるのみ

- (一) 眞理に叶ふの大なる職業 (貴)
 (二) 眞理に叶ふの小なる職業 (賤)

更に之を解釋すれば前者は眞理を含有すること多くして後者は眞理を含有すること少きなり是故に國民多くの職業を分析すれば見て以て職業をなせしも却つて貴く見て以て賤職となせしも却つて賤業となるものあり世の人多くは爰に氣付さるか故に官吏を止めて温飽屋するを耻ち教職を退きて米屋となるを厭ふ唯外形の美と否とを以て去就を決するものゝ如し何ぞ惑へるの甚しき世間遊民の多きも一に爰に基因するものなり然るに西洋人は大に爰に注目すれば我國人の思想とは頗る異なるものなり現に我が國へ布教の爲めに來りたる米國ユニテリアン宗の宣教師ナツプ氏の如きは國に歸りて骨董商を營めり當時諸新聞は同氏の機敏を賞せり吾人は同氏の機敏より寧ろ米國の國風を賞するものなり故に我國人も職業の貴賤を撰はんときは前に述べたる分類法によれ

學者政治家必しも貴きにあらす工夫農夫必しも卑しきにあらざるなり

第九 人間福禍の事

先づ眼を世界に放ちて人間の生活せる有様を見れば煉瓦木造三階四層の大家を建築して之に住し出るに馬車あり食ふに鮮肉あり纏身の衣服は綾羅綿繡家具什器皆之に伴ふ而して金錢の不足を知らず貧窮人の事夢にも思わす僅かに芝居や小説本にて見たるか如きあり而も外妾數人を貯へ日々愉快を極め強飲を爲して貴重の日子を經過するに苦しむれば住居の家もなく身に襤褸を纏ふて日々食を人の門戸に乞ふものあり又偶ま家を有するも壁は落ち障子は破れ敷物は統ひ雨雪は屋根より漏り寒風は壁間を透り夜は薄團に依らずして暖を焚火に取り食は魚鳥に依らず米麥によらず唯糍糠をのみ食し且其身は寒中破れたる單衣一領にて車の先引又は重荷を運ぶありて世界人民の生活する有様は實に其程度の相懸隔せる事は斯の如きなり然らば人間の幸福は多くの金を有するものを云ふ可きか將家に檐石の貯へなきものを幸福者と謂ふ可きか是等の点を研

究するは大に必要なものなり世間多くの人の謂はん金満家は福者なり貧困は不福なりと此故に無學文盲痴愚の人物も金たに所有すれば人の尊崇を受けて我意を張り無理をなし得るも之に反して智慧は人に勝れ學力は優等に胸に万卷の書を貯ふるも金のなき時は人の尊敬するものなきは世の常なり必竟拜金思想の爲めに良心の窮苦病を患ふる者多ければなり吾人の思ふ人間の福禍は皆其原因の善不良より來るものにして直に福禍を見て以て是非すべきにあらす況んや社會は變轉常なきもの人の行爲の常なきが如し爰に於て幸福と不幸福との區別は井然として照らかなるものなり何となしは生活の程度は貧富如何に差等あるも眞理を履行するものを以て福者と眞理を履行せざるものを以て不幸者とするなり故に人若し幸福者たらんとせば眞理に依れ眞理に依るの貧者は即ち大幸福者にして眞理に依らざる富者は大不幸者なり乃ち福禍の二門に分るゝ所以なり

第十 結 末 總 論

人間と云ふ動物の一面より之を見れば高等動物にして萬物の靈長なれば之れが價值も世界及ぶものなし然れども無學極惡の人間に至りては人か否や人面獸心の批評を免れず是に於て宗教なる教育學が顯れ是等下等人物を救濟せんとするなり特り下等人物のみならず中等以上の人物にも及ぼさんとするなり其目的たる大且美にして賞賛すべきは勿論務めて宗教の發達せんことを望むなり爰に最も着意を要するは一神教と多神教との利害得失にあらずして世界一宗論と多宗論と是なり何をか一宗論と云ふ世界は究竟一宗教にすへし他宗は自然に撲滅に期するの時代ありと云ふ何をか多宗論と云ふ世界は一宗教に歸着すへきものにあらず今後益々多岐に分れ彌々新宗教の増加するに至らんを云ふ是なり吾人は宗教に對しては冷淡にもあらず熱心にもあらず所謂中庸不偏不黨なるものなり吾人活眼を以て之を見る時は多宗論も尤も道理に叶へり是れ完全無缺の宗教は古今將來顯れ出るものにあらずされはなり既に然り豈一に歸すへきの理あらんや此故に不必要なる宗教なし各派の宗教今日猶行るゝ所以なり近代我國にも宗教は

増加するのみにして決して減少せず唯真理を含有するの多き宗教は盛大となり真理の少きは盛大ならざるのみ要するに宗教、教育、政治、法律より其他諸般の學科に至る迄含多真理ハ勝ち含少真理は敗するに至らん世に優勝劣敗と云ふは此事にして別に意義あるにあらす

社會の寶終

活眼山人編輯

●日用文字便覽

植物ノ部全一部
正價 貳錢
郵送料 貳錢

此書ハ活眼山人ノ新業ニ成リ日本通常植物凡ソ一千有餘名ヲ蒐輯シテ

一目瞭然ノ便ニ供セルモノナレハ**教育家** 學校生徒 **農家** ハ勿論發句俳諧師ヨリ **植木商** 等ニ至ル迄一般人民ノ坐右欠ク可ラサレ **良書** ナリ

中用ニハ至極輕便ニ而モ **其價** ハ僅カニ **貳錢** ナレハ賞品土産用正月ノ年

玉等ニハ恰好ノ **重寶品** ト謂フヘシ世ニ **ダイヤモンド** ノ好評

アルハ此書ノ事ナリ今ヤ植物ノ部ヲ出版ス早ク一部ヲ買求メテ此書ノ真ニ **有**

益 ナルヲ知り玉ハ、幸ヒ亦甚シ) 遠方ハ郵券代用ヲ諾ス近クハ御通知次第本

社ヨリ配達ス十部以上ノ運送費ハ本社ニテ支辨ス

發行所

近江國甲賀郡水口村(御城内)

益智新友社

謹ソテ學校ノ諸先生並ニ小學兒童ノ父兄ニ告ク

學校ト家庭ノ氣脈ヲ通シ學校教育ノ補助トナリ小學兒童ノ益友トナリ家庭教育ノ完全ヲ圖ラン爲メ今回(益智新友)ナル近江唯一ノ學術雜誌ヲ發行セントス冀クハ教育ニ從事スル諸先生教育ニ關係アル諸君兒童ノ父兄御賛成アラソテ

● 益智新友

毎月一回發行
定價一部五厘

記載ノ事項ハ大畧左ノ如ク

- 一 修身。國語。數學。地理。歴史。理科。英語等小學教育ニ適切ナル學科
- 一 各小學校ノ編制及其教育法
- 一 各學校ノ錄事
- 一 一家庭教育ノ現況及方法
- 一 一教育ニ關スル官報公報郡報ノ摘要
- 一 一小學兒童ノ作文圖畫手工習字等
- 一 一近江各町村ノ風俗
- 一 一世界學術上教育上ノ新話

發行所

近江國甲賀郡水口村(御城內)

益智新友社

明治廿七年二月七日印刷
明治廿七年二月十五日發行

定價金五錢

滋賀縣近江國蒲生郡南比都佐村大字下駒月第八十七番屋敷

著作兼發行者

增井久治郎

滋賀縣甲賀郡水口村大字水口第二百六十九番屋敷

甲賀活版所

印刷者

植村善吉

近江國甲賀郡水口村(御城內)

發行所

益智新友社

2A-93

賣 捌 所

近江國大津上京

澤 一 商店

全國草津三丁目

井筒 商店

全國水口村

伏木 文三郎

全

藪 音治郎

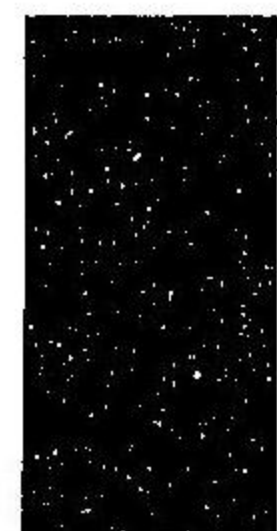
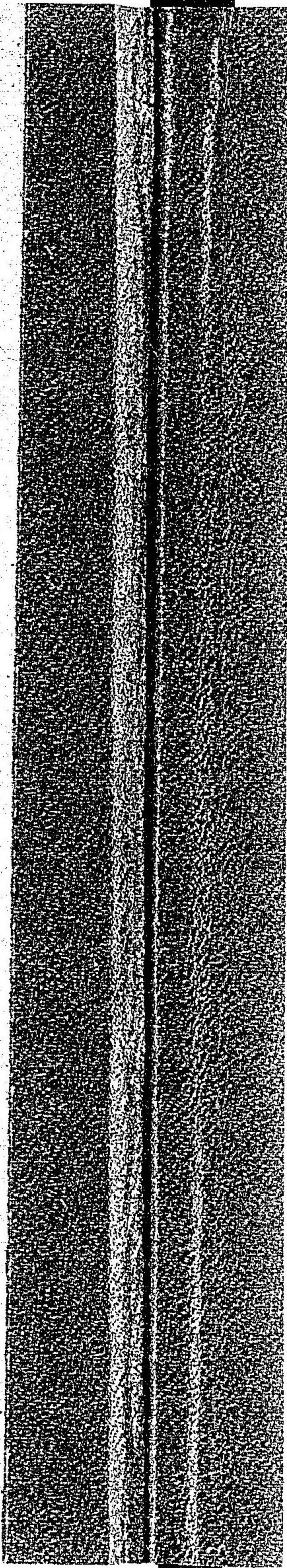
全國甲賀郡柏木村大字北脇

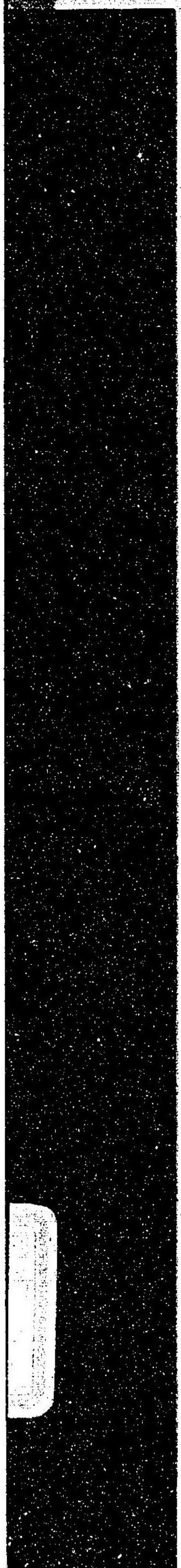
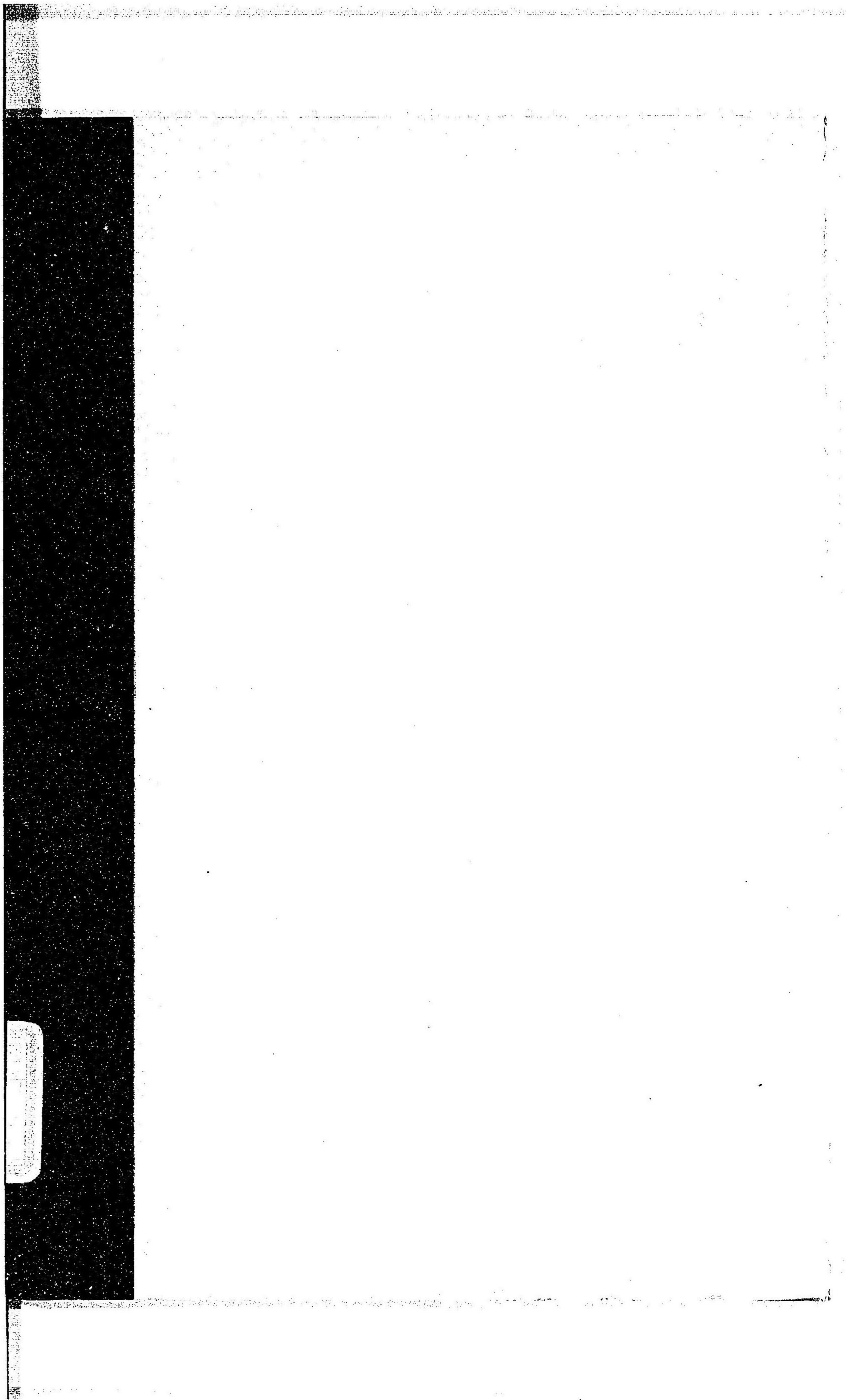
德地 平五郎

京都寺町二條下

河合 文港堂

Blank page with faint, illegible markings.





1

社会学 社会の宝
增井久治郎
国立国会図書館

102135-000-2

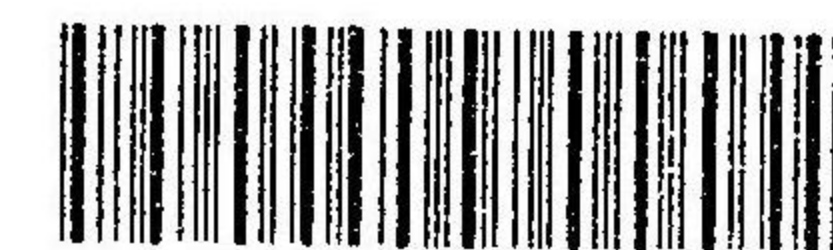
特52-444

社会の宝

增井 久治郎/著

M27

EAF-0127



特
4

